

「能登ふぐ」浸透へ

石川 組合がPRイベント

化を目指す能登ふぐ事業協同組合(石川県七尾市、理事長・杉原省すぎ省水産社長)は10月29日、「のと福来(ふく)まつり」を同市の能登食祭市場で開いた。

杉原理事長の開会あいさつに続き、大漁祈願祭供養祭、玉串奉典が執り行われた。来賓では和田内幸三県議、大田晶子全日本ふぐ連盟代表理事や県、七尾市の担当者らがあいさつした。能登ふぐを使った唐揚げやみそ汁の無料試食(各300食)があった他、市内小学生以下を対象とした絵画コンテストの表彰、フグ稚魚の放流もあった。



【石川】能登で漁獲された天然フグを「能登ふぐ」ブランドで展開し、地元消費拡大・地域活性化

同まつりは今年で4回目。「能登ふぐブランドが浸透してきた。もっと地元で食べられるよう、今後も盛り上げていきたい」と杉原理事長。

試食ではアンケートも実施